

(1) 教育長報告

年月日	曜	時刻	行事名	場所
26/02/20	金	14:00	教育委員会定例会	都南分庁舎 教育委員会室
		16:30	長野県立大学長来訪	都南分庁舎 教育長室
		18:20	小学校長会「感謝の会」	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
26/02/21	土			
26/02/22	日	10:00	令和7年度第2回もりおか郷土芸能フェスティバル	キャラホール
26/02/23	月			
26/02/24	火	9:00	第5回調整会議	盛岡地区合同庁舎
26/02/25	水			
26/02/26	木			
26/02/27	金	10:00	【市議会】代表質問	本庁舎 議場
26/02/28	土			
26/03/01	日	10:00	令和7年度盛岡市立高等学校卒業式	市立高校 第一体育館
26/03/02	月	10:00	【市議会】代表質問・一般質問	本庁舎 議場
26/03/03	火	10:00	【市議会】一般質問	本庁舎 議場
26/03/04	水	10:00	【市議会】一般質問	本庁舎 議場
26/03/05	木	10:00	【市議会】一般質問	本庁舎 議場
		本会議 終了後	【市議会】全員協議会	本庁舎 委員会室
26/03/06	金	12:20	市内小・中学校臨時校長会議	都南分庁舎 3階研修室
		14:00	盛岡大学教授2名来訪	都南分庁舎 教育長室
26/03/07	土			
26/03/08	日			
26/03/09	月	10:00	【市議会】議案質疑	本庁舎 議場
26/03/10	火	10:00	【市議会】総務常任委員会	本庁舎 委員会室
		14:00	【市議会】教育福祉常任委員会	本庁舎 委員会室
26/03/11	水	14:40	【協議会】岩手県東日本大震災津波追悼式	トーサイクラシックホール岩手
		16:15	市長訪問	市長室
26/03/12	木	14:00	岩手県小学校長会会長来訪	都南分庁舎 教育長室
		15:00	岩手県小学校家庭科教育研究会会長・副会長来訪	都南分庁舎 教育長室
26/03/13	金	13:00	【市議会】補正予算等	本庁舎 議場
		16:00	第6回調整会議	サンセール盛岡
26/03/14	土			
26/03/15	日			
26/03/16	月	10:00	【市議会】予算審査特別委員会	本庁舎 委員会室
26/03/17	火	8:40	教育委員会臨時会	本庁舎 401会議室
		10:00	【市議会】予算審査特別委員会	本庁舎 委員会室
26/03/18	水			
26/03/19	木	13:00	【市議会】予算審査特別委員会	本庁舎 委員会室
		18:00	令和7年度盛岡市中学校長会「感謝と惜別の宴」	ホテルニューカーリーナ

年月日	曜	時刻	行事名	場所
26/03/20	金	10:00	盛岡市立玉山小学校・盛岡市立玉山中学校「閉校記念式典」	玉山中学校 体育館
		15:00	盛岡市立玉山小学校・盛岡市立玉山中学校「思い出を語る会」	サンセール盛岡
26/03/21	土			
26/03/22	日			
26/03/23	月			
26/03/24	火	9:30	県教委学校教育企画監来訪	都南分庁舎 教育長室
26/03/25	水	11:00	岩手大学訪問	岩手大学
		14:00	教育委員会定例会	都南分庁舎 教育委員会室

(2) 令和8年3月市議会定例会の概要について

月日	質問議員 (会派)	答弁者	質問要旨	担当課 (関係課)
2/27 (金)	<代表質問>			
	1 田山俊悦 (盛友会)		<b>【市長挨拶について】</b>	
		市長	(1) 公約のうち小学校給食費無償化を実施することについての所見を伺う。	学務教職員課
		市長	(2) 中学校も含めた完全給食無償化の実施についての決意を伺う。	学務教職員課
		市長	・玉山村合併20周年・啄木生誕140周年事業の予定とその効果を伺う。	歴史文化課
			<b>【教育長挨拶について】</b>	
			[学習用端末を通じた教育活動における評価について]	
		教育長	・学習用端末を通じた教育活動について、本市の子どもたちにどのような成果が得られ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、多様な子どもたちの深い学びを確かなものにする事ができたのか、その評価を伺う。	学校教育課
		教育長	・今回更新する学習用端末を通じ、どのような学習活動の充実を行い、子どもたちの学力向上に向かうのか、考えと取組について伺う。	学校教育課
			[市立高等学校の教育]	
		教育長	(1) 市立高校の教育DXの成果を伺う。	盛岡市立高等学校
		教育長	(2) 今後の取組について伺う。	盛岡市立高等学校
		教育長	(3) 次代を担う人材育成に対する思いを伺う。	盛岡市立高等学校
			[情報活用能力・情報モラルについて]	
		教育長	・情報活用能力の向上と情報モラルの育成に係るこれまでの取組とその成果について伺う。	学校教育課
		教育長	・今後の情報活用能力・情報モラルの育成について伺う。	学校教育課
		教育長	・統合型校務支援システムやクラウド環境の活用により教員の業務負担がどの程度軽減されるものか。	学務教職員課
		教育長	・市の具体的な取組と目標を知らせよ。	学務教職員課
			[いじめの早期発見と組織的対応について]	
		教育長	・本市のいじめの現状と対策チームの取組やこども相談室との連携について成果と課題、今後の方向性を伺う。	学校教育課
			[不登校対策について]	
		教育長	・新たに任用するスクールソーシャルワーカーを配置することで、アウトリーチ型支援の体制がどのように強化されるのか。	学校教育課
		教育長	・サテライト分室を含めた子どもの居場所の拡充にどのように取り組み、社会的自立につないでいくか伺う。	学校教育課
		教育長	・子どもを支えるとともに、保護者支援の拡充を期待するが、所見を伺う。	学校教育課
			[学校給食]	
		教育長	(1) 学校給食の量と質の確保の取組について伺う。	学務教職員課
		教育長	(2) 地場産品や郷土食、行事食の取組方針について伺う。	学務教職員課

月日	質問議員 (会派)	答弁者	質問要旨	担当課 (関係課)	
2/27 (金)	1 田山俊悦 (盛友会)		[小中学校の適正配置]		
		教育長	・現在の「適正配置基本方針」の見直し及び「基本計画」の改定の検討はどのような内容か伺う。	学務教職員課	
		教育長	・教育委員会としてどのように進めていくか、保護者や地域の声をどのように伺い反映させていくか伺う。	学務教職員課	
		教育長	・目標値や方向性を決める日程など伺う。	学務教職員課	
		教育長	・適正配置の取組について教育長の所見を伺う。	学務教職員課	
	2 兼平孝信 (創盛会)			<b>【教育長挨拶について】</b>	
				[不登校対策について]	
		教育長	・本市の不登校の実態はどうか。	学校教育課	
		教育長	・新たに任用するスクールソーシャルワーカーの役割について伺う。	学校教育課	
		教育長	・サテライト分室やモリーオカフェの様子や効果を含め、これまでの対策における変化について伺う。	学校教育課	
				[学校給食費無償化について]	
		教育長	国の当初予算審議が年度内に成立しなかった場合の、給食費無償化の具体的対応策を示せ。	学務教職員課	
				[社会教育施設の充実]	
	教育長	①都南図書館の視聴覚資料の更新や拡充についてどのように考えているか。	生涯学習課		
	3 鈴木努 (日本共産党)			<b>【市長挨拶について】</b>	
		市長	(1) 市内各小学校における令和8年度の一人一月当たりの食)材費を示せ。	学務教職員課	
		市長	(2) 補助基準額を超えた場合の対応について示せ。	学務教職員課	
		市長	(3) 給食の質の確保及び更なる地産地消の推進について示せ。	学務教職員課	
		市長	(4) 弁当持参世帯や給食自由選択方式も含めた、中学校給食の無償化について示せ。	学務教職員課	
		市長	(5) 不登校の子どもに対する支援について示せ。	学務教職員課	
			<b>【教育長挨拶について】</b>		
			[教育DXについて]		
教育長		・一人一台端末の導入以降、子どもの読解力、思考力、記述力がどのように向上したか検証しているか。	学校教育課		
教育長		・小学校低学年では発達段階に応じた使用基準を設けるべきではないかと考えるがそのような検討は進められているか。	学校教育課		
教育長		・働き方改革を掲げる中でICTが教員に対する新たな業務増大要因となっていないか、実態と対策を示せ。	学校教育課		
教育長		・教員の指導力や主体的な判断力を培い促す方針について伺う。	学校教育課		
教育長		・ICT、教育DXの成果や副作用を検証し市民に示すことへの所見を伺う。	学校教育課		

月日	質問議員 (会派)	答弁者	質問要旨	担当課 (関係課)
2/27 (金)	3 鈴木努 (日本共産党)		[不登校対策について]	
		教育長	・政治が学校に極端な競争と管理を持ち込み、学校が子どもに合わなくなってきたことを考える必要があるのではないか。	学校教育課
		教育長	・不登校の支援の基本を子どもの権利を尊重し支援するとともに学校が子どもを人間として大切に場所とすることが求められるが見解を述べよ。	学校教育課
		教育長	・フリースクールの意義や役割はどう位置付けているか、経済的支援はどのように検討しているか。	学校教育課
			[学校給食]	
		教育長	新センター完成を待たず、ランチボックスの食数拡大や親子方式の実施による給食提供について所見を伺う。	学務教職員課
		教育長	・就学援助費の拡充について所見を伺う。	学務教職員課
3/2 (月)	4 伊勢志穂 (市政クラブ)		<b>【教育長挨拶について】</b>	
			[教員の指導力向上について]	
		教育長	・学級運営や子どもへの生活指導など学力に関わらない分野の研修の実施について意見を述べよ。	学校教育課
		教育長	・保護者等からの対応の担当者を置き、担任教師の負担を減らすことについて意見を述べよ。	学校教育課
			[不登校対策]	
		教育長	・不登校生徒の意識に寄り添った進路指導を徹底してほしいと考えるが、教育長の所見を伺う。	学校教育課
			[学校運営協議会]	
		教育長	・学校運営協議会が設置されることの意義を伺う。	学校教育課
		教育長	・学校運営協議会の設置は、アドボケイト設置と同様の効果をもたらす可能性があると考えがいかがか。	学校教育課
		教育長	①先人記念館における女性の少なさについて今後の方針を示せ。	歴史文化課
	5 太田隆司 (公明党)		<b>【市長挨拶について】</b>	
		市長	(1) 小学校給食費の保護者負担はゼロにするか示せ。	学務教職員課
		市長	(2) 全小中学校完全給食無償化に向けた取り組みを示せ。	学務教職員課
			<b>【教育長挨拶について】</b>	
			[個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について]	
		教育長	・「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」について、算数・数学と英語の資質・能力の向上、教員の研修を深め授業改善を支援していく必要があること、この課題に対し、今後の取組を伺う。	学校教育課
			[道徳教育の推進について]	
		教育長	・「道徳教育の推進」について、児童生徒が基本的人権を有することを理解した上で他者の人権を尊重する心の育成が必要であること、児童生徒が多様な意見を認め合うことに価値を感じる取組を進める必要があること、この課題に対し、今後どう取り組むか伺う。	学校教育課

月日	質問議員 (会派)	答弁者	質問要旨	担当課 (関係課)
3/2 (月)	5 太田隆司 (公明党)		[いじめ問題と不登校への対応について]	
		教育長	・学校いじめ防止基本方針への教職員間の共通理解、必要に応じた見直しなど、実効性のある取組をどのように行うか。	学校教育課
		教育長	・児童生徒・家庭へ、不登校対策に係る多岐にわたる支援について、どのように取り組むか。	学校教育課
			[特別支援教育の充実]	
		教育長	・特別支援体制の整備と児童生徒のニーズに即した望ましい支援、校内における支援体制の充実と教職員の理解促進・指導力向上にどう取り組むか伺う。	学校教育課
			[教員の指導力向上について]	
		教育長	・教員個々のニーズに応じたICT活用研修の実施による業務負担の軽減、研究成果の普及、教員自身による課題の把握と解決に向けた研修の実施にどう取り組んでいくか。	学校教育課
		教育長	[史跡・名勝・天然記念物の保存・整備・活用について] ・復元建物の老朽化に対する環境整備、遺跡の適切な保存管理、天然記念物の管理者への助成などによる周辺環境の変化に対応した維持管理を行う必要があるとしているが、どのように取り組むのか。	歴史文化課
3/2 (月)	<一括質問>			
1 中村雅幸 (市政クラブ)			<b>【学校給食費無償化について】</b>	
	市長	(1) 学校給食費無償化の効果について示せ。	学務教職員課	
	市長	(2) 令和8年度の支援額以上の給食費の学校数と不足金額について示せ。	学務教職員課	
	市長	(3) 支援額で不足する金額の対応について示せ。	学務教職員課	
	教育部長	(4) 長期に給食を食べられない児童への対応について示せ。	学務教職員課	
	教育部長	(5) 給食費の公会計化の検討状況と見通しについて示せ。	学務教職員課	
			<b>【地元商店の支援について】</b>	
	教育部長	(4) 地元の商店を支える学校給食について考えを示せ。	学務教職員課	
	教育部長	(5) 第二学校給食センターの食材調達について考えを示せ。	学務教職員課	
			<b>【盛岡市立高等学校について】</b>	
	教育長	(1) 特色ある教育活動の取組実践と実績、生徒の反応を示せ。	盛岡市立高等学校	
	教育長	(2) 商業科における盛岡市と関連する学習の内容と生徒の反応を示せ。	盛岡市立高等学校	
	教育長	(3) 進学に向けて必要とされる生徒の経験と能力について市立高校の取組内容を示せ。	盛岡市立高等学校	
	教育長	(4) インクルーシブ教育の取組と今後について高等学校としての考えを示せ。	盛岡市立高等学校	
	教育長	(5) 教育実践を進める上で教職員の配置の実情を示せ。	盛岡市立高等学校	
	教育長	(6) 国への補助金申請の現状と課題を示せ。	盛岡市立高等学校	
教育長	(7) 市独自の公立高校として市教育委員会の関わり方を示せ。	盛岡市立高等学校		

月日	質問議員 (会派)	答弁者	質問要旨	担当課 (関係課)
3/3 (火)	2 鈴木聖子		【教育行政について】	
		教育長	・本市の不登校児童生徒のうち、欠席期間中の学習成果が指導要録に反映されている児童生徒数を伺う。	学校教育課
		教育長	・教育長は「学校風土の見える化」「児童生徒主体の授業」をどう展開し、その先にどのような子どもたちの姿を思い描いているか伺う。	学校教育課
		教育長	・市内の小中学校が設置している校内教育支援センターの対応はどのような体制で支援にあたっているのか。	学校教育課
		教育長	・8年度のスクールカウンセラーや不登校対策相談員、スクールアシスタントの配置数を知らせよ。	学校教育課
		教育長	・8年度のスクールソーシャルワーカーの配置数と活用方法を伺う。	学校教育課
		教育長	・市長と教育長がタッグを組み「学力」と「人格」を共に育てるまちづくりに取り組んでいただきたいが教育長の見解を伺う。	学校教育課
3 高橋和夫 (日本共産党)			(該当なし)	
4 千葉順子 (盛友会)			【自治体経営改善について】	
	教育部長		(1) 第二学校給食センターの用地選定をする際に何を重要視して検討したのか。	学務教職員課
	教育部長		(2) その際に滝沢市の老朽化した給食センターとの広域を検討の俎上に挙げなかった理由は何か。	学務教職員課
5 神部伸也 (日本共産党)			【教育課題について】	
			①盛岡市教育振興運動について	
	教育長		・今後、時代に合わせて発展し引き継がれていくことを期待するが、教育長の所感を伺う。	学校教育課
	教育長		・第13次5か年計画の「運動の目標」を伺う。	学校教育課
	教育長		・第13次5か年計画の「運動の重点」を伺う。	学校教育課
			【学校司書の配置について】	
	教育長		・学校司書の増員について来年度はどうなるのか。	学校教育課
	教育長		・希望校には継続的に配置されるよう体制を整えていただきたいが改善の余地はあるか。	学校教育課
			【教育課題について】	
	教育部長		(1) 消耗品等を購入するための集金の費目に「給食」の文言を使用しないよう指示した理由は何か。	学務教職員課
教育部長		(2) 消耗品等の購入を他都市ではどのようにしているのか。	学務教職員課	
3/4 (水)	6 浅沼克人 (盛友会)		(該当なし)	
	7 庄子春治 (日本共産党)			【社会教育行政について】
教育部長			[図書館について] ・市教育委員会の一部不開示は拡大解釈ではないか、経過と内容、市教委の見解と対応について伺う。	生涯学習課・市立図書館

月日	質問議員 (会派)	答弁者	質問要旨	担当課 (関係課)
3/4 (水)	7 庄子春治 (日本共産党)	教育部長	・貸出冊数について、その後の取組と、効果についての判断を示せ。	生涯学習課・市立図書館
		教育部長	・図書館と公民館等をつなぐネットワークに対する市の姿勢が後退している理由と今後の取組を伺う。	生涯学習課・市立図書館
		教育部長	・新聞資料の活用、特に複写サービスについて、どのような調査を行い、何が明らかになったのか調査結果を示せ。	生涯学習課・市立図書館
		教育部長	・図書館法に規定する図書館の役割を果たせていない現状の解決どう取り組むか。結論を出すのはいつか示せ。	生涯学習課・市立図書館
		教育部長	・上田公民館の分館・分室化についての検討状況を伺う。	生涯学習課・市立図書館
		教育部長	・盛岡市の図書館も基本計画を策定すべきではないか見解を伺う。	生涯学習課・市立図書館
		教育長	・教育振興基本計画の貸出冊数の目標値2.2について教育長の所見を伺う。	生涯学習課・市立図書館
		教育長	・この目標の根拠は何か。図書館協議会ではどのような意見が出されたか。	生涯学習課・市立図書館
			[公民館について]	
		教育部長	・公民館の使用料の値上げと減免の縮小による社会教育関係団体の活動の縮小と育成の支障に対する対応策を伺う。	生涯学習課・中央公民館
		教育部長	・使用料値上げ分を施設整備に充てる財源と整備内容について伺う。また、地区公民館へのWi-Fiは整備されるのか伺う。	生涯学習課・中央公民館
8 山崎智樹 (盛友会)			<b>【市民参画と行政事務について】</b>	
			(3) 学校現場を含めた参画における対応	
	教育長		学校運営への参画の在り方や主権者教育を家庭と共有する取組など、具体的にどのように進めていくのか伺う。	学校教育課
			<b>【色覚特性に配慮した体制について】</b>	
	教育長		・学校現場における色覚特性への対応状況について伺う。	学校教育課
	教育長		・教職員研修の実施状況と周知について伺う。	学校教育課
9 豊村徹也 (創盛会)			<b>【小中学校適正配置について】</b>	
	教育長		・学校運営計画や適正配置計画策定に際して、今後の学区別児童・生徒数をどのように推計しているのか伺う。	学務教職員課
	教育長		・令和7年度において複式学級を有する学校や、一学年複数学級を維持できない学年を有する学校の児童生徒数は今後どのように推移すると見込まれるのか所見を伺う。	学務教職員課
			<b>【子どもや若者のSNS依存について】</b>	
教育長		・スマホやSNSの利用による個人情報の流出の危険性について所見を示せ。	学校教育課	
3/5 (木)	<一問一答>			
	1 工藤健一 (盛友会)		(該当なし)	
	2 佐藤尚弘 (日本維新の会)		<b>【市立小中学校における指定制服及び運動着に係る経済的負担について】</b>	
教育部長		(1) 夏冬の指定制服及び運動着を一式購入する場合の小学校・中学校別及び男女等別の平均的な購入金額を示されたい。また、直近5年程度の価格動向について、上昇・横ばい・低下のいずれに該当すると認識しているか。	学校教育課	

月日	質問議員 (会派)	答弁者	質問要旨	担当課 (関係課)
3/5  (木)	2 佐藤尚弘  (日本維新の会)	教育部長	(2) 当該経済的負担に係り、文部科学省から教育委員会に対し、これまでどのような取扱いを求める通知がなされているか。併せて、これを踏まえ、教育委員会として、指定制服及び運動着に係る経済的負担について、目指すべき姿をどのように整理しているか。	学校教育課
		教育部長	(4) 滝沢市の取組を参考に、指定制服及び運動着は統一デザインとすることも視野に、在り方の検討を行うべきであると考えているが、認識を伺う。	学校教育課
		教育部長	(5) 文部科学省通知及び独占禁止法の趣旨を踏まえ、公正な競争を促進するため、また保護者の利便性向上を図るため、指定制服及び運動着の仕様を公開の上、販売店を増やすための取組を行わなければならないと考えているが、認識を伺う。	学校教育課
		教育部長	(7) 制服等と同様に、彫刻刀や裁縫セット等の教材も、経済的負担軽減の観点から学校備品化を含めた在り方の見直しを検討する考えはないか。	学校教育課
			<b>【市立図書館の開館時間の延長等について】</b>	
		教育部長	(1) 図書館法第7条の2に基づき文部科学省が定めている「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」では、市町村立図書館の開館時間について、どのようなことに配慮するものとされているか。また、これを受け、利用者の生活時間や就労状況の変化等をどのように考慮して現行の開館時間を設定しているか。	市立図書館・生涯学習課
		教育部長	(2) 現行の平日18時閉館は、いつから実施しているものか。また、これまで見直しの検討等を行ったことはあるか。	市立図書館・生涯学習課
		教育部長	(3) 過去5年間における、閉館時間に関する要望件数及びその内容を示されたい。	市立図書館・生涯学習課
		教育部長	(4) 中核市の市立図書館のうち、19時以降に平日の閉館時間を設定している割合を示されたい。また、県内の県立及び市立図書館ではどうか。	市立図書館・生涯学習課
		教育部長	(5) 市立図書館の平日の閉館時間を19時とした場合のかかり増し経費の概算額を示されたい。また、延長した時間を、他自治体での実施例を踏まえ図書の出借をしない閲覧席・学習席の利用のみとした場合はどうか。	市立図書館・生涯学習課
教育部長	(6) 子どもたちのサードプレイスとしての重要性を踏まえ、開館時間の延長を含め、図書館機能の充実を図る必要性について認識を伺う。	市立図書館・生涯学習課		
3 池野直友  (公明党)			<b>【災害対策について】</b>	
	教育長	(4) 県教委では2026年度、小中高校で、地域の実情に応じた「防災教育の強化」を図る方針だが、市教育委員会としての、今後の防災教育について考えを示せ。	学校教育課	
4 佐藤明彦  (盛友会)			(該当なし)	
5 野中靖志  (市政クラブ)			<b>【公職選挙の実施について】</b>	
			(2) 投票率の向上の取組	
			②市立高校における投票率向上に向けた取組について	
	教育長	・市立高校3年生について、投票することへの影響はありましたでしょうか。	学校教育課	
教育長	・今回の選挙において、市立高校における投票率の向上に向けた取組はどのようなものであったか教育長に伺う。	学校教育課		
6 野田尚紀  (盛友会)			<b>【多文化共生社会の実現に向けた日本語教育の充実について】</b>	
			(2) 日本語を母語としない児童・生徒に対する義務教育の支援	
	教育長	・日本語を母語としない児童生徒への支援について	学校教育課	

月日	質問議員 (会派)	答弁者	質問要旨	担当課 (関係課)
3/5 (木)	7 鈴木真吾 (盛友会)		【A I 活用の展望について】	
			(2) 端末の更新における生成A I の導入	
		教育長	①現在、市内小中学校において、教員及び児童生徒がI C Tを活用する中で、A I はどのような場面で、どのように活用されているか、現状を伺う。	学校教育課
		教育長	②一人一台端末の更新を契機として、今後、教員及び児童生徒が生成A I をどのように活用していくのか、教育委員会としての現時点における基本的な考え方を伺う。	学校教育課
		教育長	③一人一台端末を活用した学習において、教員が学習記録(ログ)を活用し、児童生徒一人ひとりの習熟度をダッシュボード機能により一覧化・可視化する仕組みの導入を検討しているか伺う。	学校教育課
		教育長	④今回更新された一人一台端末は、何年間の使用を想定しているか。また、生成A I をはじめ必要なアプリケーションを必要に応じて追加・更新できる柔軟な仕様となっているか伺う。	学校教育課
		教育長	⑤教員の業務負担軽減を図る観点から、定期テストや小テスト等の採点補助、あるいは所見・評価文の作成支援に生成A I を活用することについて、教育委員会の見解を伺う。	学校教育課
		教育長	⑥生成A I の活用にあたり、児童生徒の個人情報や学習データの取り扱いに関するガイドラインの作成、及びセキュリティ対策について検討されているか伺う。	学校教育課
	教育長	⑦端末更新にあわせて、教員がI C T・生成A I を効果的に活用できるよう、研修体制やI C T支援員の配置など、サポート体制をどのようにお考えか伺う。	学校教育課	
		8 三田村亜美子 (日本共産党)		【応急手当の普及について】
			(3) 小中学校における救命講習の実施状況	
教育長			③小中学校における救命講習の実施状況、全児童生徒が卒業までに一度は受講できる体制になっているか伺う。	学校教育課

議案第 36 号

臨時専決処理につき承認を求めることについて

教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教育委員会規則第2号）第4条第1項の規定により次のとおり臨時専決処理したから、同条第2項の規定により報告し、承認を求める。

令和8年3月25日提出

盛岡市教育委員会教育長 多田英史

臨時専決処理書

教育予算その他議会の議決を経るべき議案について市長に意見を申し出ることについて、教育委員会の会議を招集する暇がないと認めたので、教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教育委員会規則第2号）第4条第1項の規定により、次のとおり臨時専決処理する。

令和8年3月3日

盛岡市教育委員会教育長 多田英史

市議会の議決を経るべき議案に係る市長への意見の申出について

令和8年3月盛岡市議会定例会に市長が提案する次の議案について、同意するものとする。

令和7年度盛岡市一般会計補正予算（第8号）（教育費分）

臨時専決処理の理由

令和8年3月盛岡市議会定例会に教育委員会に関する議案を市長が提案するに当たり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、教育委員会としての意見を市長に申し出ようとするものである。

1 令和7年度一般会計補正予算(第8号)(教育費分)

《歳入》

【千円】

現計予算額	補正額	合計
2,893,105	207,922	3,101,027

内 容

①学校施設環境改善交付金(総務課)	10,888
②トイレ改修事業交付金(総務課)	152,947
③教育支援体制整備事業費補助金(学校教育課)	△ 2,709
④街並み環境整備事業交付金(歴史文化課)	△ 4,020
⑤教育費寄附金(歴史文化課)	11,362
⑥埋蔵文化財調査受託事業収入(歴史文化課)	△ 33,225
⑦校舎安全対策改修事業債(総務課)	△ 380,500
⑧トイレ環境整備事業債(総務課)	△ 65,300
⑨玉山学校給食センター長寿命化改修事業債(玉山学校給食センター)	△ 1,200
⑩仙北小学校屋内運動場長寿命化改修事業債(総務課)	100,200
⑪上田公民館大規模改修事業債(上田公民館)	△ 1,400
⑫城北小学校校舎長寿命化改修事業債(総務課)	△ 2,100
⑬北陵中学校校舎解体事業債(総務課)	△ 6,600
⑭教育費長寿命化事業債(総務課)	△ 25,900
⑮教育費長寿命化事業債(市立高等学校事務室)	△ 15,000
⑯北陵中学校校舎長寿命化改修事業債(総務課)	△ 19,000
⑰城東中学校屋内運動場長寿命化改修事業債(総務課)	△ 9,300
⑱トイレ改修事業債(総務課)	504,400
⑲教育施設空調設備整備事業債(総務課)	△ 5,300
その他	△ 321

## 《歳出》

【千円】

現計予算額	補正額	合計
10,439,587	248,729	10,688,316

## 内 容

①総務事務(総務課)	94,240
②学校管理事務(小)(総務課)	△ 8,049
③トイレ改修事業(小)(総務課)	544,018
④仙北小学校屋内運動場長寿命化改修事業(総務課)	114,119
⑤学校施設等整備事業(小)(総務課)	△ 5,084
⑥校舎安全対策改修事業(小)(総務課)	△ 322,968
⑦トイレ環境整備事業(小)(総務課)	△ 27,346
⑧校舎等維持補修事業(中)(総務課)	△ 28,264
⑨トイレ改修事業(中)(総務課)	126,781
⑩北陵中学校校舎長寿命化改修事業(総務課)	△ 28,312
⑪学校施設等整備事業(中)(総務課)	△ 2,799
⑫校舎安全対策改修事業(中)(総務課)	△ 99,856
⑬トイレ環境整備事業(中)(総務課)	△ 37,931
⑭城東中学校屋内運動場長寿命化改修事業(総務課)	△ 10,351
⑮学校管理事務(小)(学務教職員課)	△ 3,812
⑯学校給食運営事業(小)(学務教職員課)	2,639
⑰教育振興事業(小)(学務教職員課)	△ 8,896
⑱学校給食運営事業(中)(学務教職員課)	4,119
⑲教育振興事業(中)(学務教職員課)	△ 3,432
⑳幼稚園管理事務(学務教職員課)	△ 4,215
㉑総務事務(学校教育課)	△ 2,486
㉒切れ目のない支援体制整備充実事業(学校教育課)	△ 8,129
㉓スクールサポート事業(学校教育課)	4,050
㉔総務事務(生涯学習課)	2,699
㉕総務事務(歴史文化課)	10,650
㉖文化財保護事業(歴史文化課)	13,147
㉗盛岡城跡保存整備事業(歴史文化課)	△ 8,094
㉘埋蔵文化財発掘調査受託事業(歴史文化課)	△ 33,225
㉙総務事務(教育研究所)	2,499
㉚管理運営事業(中央公民館)	2,799
㉛管理運営事業(西部公民館)	4,304
㉜管理運営事業(都南図書館)	△ 3,705
㉝管理運営事業(区界高原少年自然の家)	2,880
㉞総務事務(市立高等学校事務室)	△ 22,113
その他	△ 11,148

議案第 37 号

令和7年度盛岡市教育委員会点検評価報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）第26条の規定により、令和6年度に盛岡市教育委員会が実施した事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、別紙のとおり報告書を作成するものとする。

令和8年3月25日提出

盛岡市教育委員会教育長 多 田 英 史

提案理由

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成しようとするものである。

# 令和7年度 行政評価結果

【事後評価】

評価からはじめるまちづくり

令和8年3月

盛岡市

# 【施策評価(令和6年度実績評価及び平成27年度～令和6年度総括)】

## 施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力があふれるまちづくり
施策	11	歴史・文化の継承
施策主管部等	教育委員会	
評価責任者	下田 法子 教育部長	
評価シート作成者	鈴木 茂也 教育次長	

## 「施策の目的」

施策の目的(総合計画実施計画から転記)
地域に受け継がれている歴史や文化に誇りを持ち、次世代に伝えていくため、文化財の保護に取り組むとともに、市民が歴史や文化に理解を深め、身近に感じることができるように、文化財の幅広い活用を図る。

## 施策の概要

主な取組内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>有形・無形文化財の保護と活用</li> <li>国指定史跡盛岡城跡の本丸地区発掘調査</li> <li>国指定史跡志波城跡の保存整備</li> <li>埋蔵文化財の保護と活用</li> <li>博物館等施設の整備・充実</li> <li>玉山歴史民俗資料館と石川啄木記念館の複合施設の整備</li> </ul>

対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
市民	地域に受け継がれている歴史や文化に対する関心が高まる
文化財	地域に受け継がれている歴史や文化が保護、継承される

## 施策の成果指標の状況・評価

※達成率の算出方法 [ 〳 の指標:(R6実績値-当初値) / (R6目標値-当初値) × 100 ] [ →(+ )の指標:(R6実績値) / (当初値) × 100 ] [ →(- )の指標:(当初値) / (R6実績値) × 100 ]

実績値の推移				達成状況			
指標①	文化財数(国・県・市指定)	単 位	目指す方向	R6実績値	280	達成率	90.9%
		件	↗				
当初値 (H25)	270	R1目標値	276	R6目標値	281	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の指定追加については、候補となる案件の情報収集に努め、文化財保護審議会へ諮問を行うための調査等を行い、審議会の答申に基づき進められたところであり、コロナ禍において新規案件の調査ができなかったこと等により目標件数までは届かなかったが、県の指定や市の追加指定など、着実に件数を増やすことができた。</li> </ul>			

実績値の推移				達成状況			
指標②	まちづくり評価アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合	単 位	目指す方向	R6実績値	64.7	達成率	95.3%
		%	↗				
当初値 (H25)	58.6	R1目標値	61.8	R6目標値	65.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡城跡保存整備事業や埋蔵文化財調査事業において、博物館等での歴史・文化財を活用した事業や現地説明会等の周知を図り、市民や観光客に対し、文化財に触れる機会を提供することができた。</li> <li>郷土芸能フェスティバルの共催などを通じて無形民俗文化財の鑑賞機会を提供したほか、博物館施設においては、各館の収蔵資料を活用した展示や講座等を行うなど、施設の特徴・個性を生かした事業に取り組んだことにより、概ね目標値に達することができた。</li> </ul>			

## 平成27年度～令和6年度の施策の総括(成果、課題)

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>有形・無形の文化財等の保護と活用に取り組み、市民が歴史や文化に理解を深めるための一助となった。</li> <li>国指定重要無形民俗文化財「永井の大念仏剣舞」が属する「風流踊(ふりゅうおどり)」が、令和4年にユネスコ無形文化遺産に登録され、地域に伝わる民俗芸能の価値を再認識するとともに、市民の関心を高め、本市の魅力を発信する機会となった。</li> <li>玉山地域の歴史や民俗・文化を後世に伝え、新たな魅力を発信するための拠点施設となる、石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館の整備を推進し、令和7年度から施設の供用を開始した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有形文化財等について、適切な保存が難しくなっている物件が増加していることから、管理体制の維持が必要である。</li> <li>無形民俗文化財について、民俗芸能保持団体の後継者が減少していることから、確実な継承支援が必要である。</li> <li>埋蔵文化財について、収納スペースが不足していることから、出土資料の収蔵場所の確保が必要である。</li> <li>盛岡城跡を次世代に継承していくために、引き続き、発掘調査を進める必要がある。</li> <li>博物館等施設等の多くは老朽化が進行していることから、施設機能の更新を図る必要がある。</li> </ul>

## 評価責任者意見

施策評価全体を踏まえた評価責任者意見(平成27年度～令和6年度の総括)
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に受け継がれている歴史や文化に親しむこと、そして、それを次世代に継承することは、地域づくりや交流人口の拡大を図る上で非常に大切なことであることから、更に市民や本市を訪れる方々の関心が高まるよう、企画展やイベント等について、創意工夫、改善し、意識啓発を図る必要がある。</li> <li>また、博物館等施設については、市民や来館者が関心を持ち、訪れてみたいと思う魅力的な施設であり続けるよう、計画的に企画展などの事業を展開するとともに、展示施設の更新など、利用しやすくわかりやすい展示に心がけるほか、施設を安全に利用していただくため、修繕・改修、整備を行う必要がある。</li> <li>この10年間で、コロナという大きなマイナス要因があったにもかかわらず、目標数値にあと一步のところまで近づけたのは、ニューヨークタイムズ紙効果による外国人を含めた観光客の増加が要因として挙げられるが、それ以上に、市における地道な活動と、文化財や伝統芸能にかかわる市民、指定管理者の協力が大きかったものと捉えている。今後も、市民や盛岡を訪れる方々が、本市の歴史や文化に興味を持ち、歴史的価値の高い文化財等の大切さを認識するとともに、来館者の増加にもつながるよう、ソフト・ハード両面から施策展開に努めたい。</li> </ul>

# 【施策評価(令和6年度実績評価及び平成27年度～令和6年度総括)】

## 施策の総合計画における位置付け

基本目標	3	人を育み未来につなぐまちづくり
施策	17	子どもの教育の充実
施策主管部等	教育委員会	
評価責任者	下田 法子 教育部長	
評価シート作成者	鈴木 茂也 教育次長	

## 「施策の目的」

施策の目的(総合計画実施計画から転記)
子ども一人ひとりの個性をいかし、学力を定着させ、生きる力を育むことができるように、学校や家庭、地域などが連携しながら、子どもの教育の充実と健全な育成を図る。

## 施策の概要

主な取組内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研究の推進、学力向上推進会議の開催、指導主事による学校訪問等指導、研究員研究の実施</li> <li>・学校公開研究会、教科指導等の公開講座、教育研究所研究発表大会の開催</li> <li>・築40年以上経過した施設等の改修工事</li> </ul>

対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
幼児	健やかな成長が図られている。
小中学生	学力の向上が図られている。 心身ともに健全育成が図られている。
高校生	学力の向上が図られている。 生徒一人ひとりの希望に沿った進路の実現が図られている。
教員	誠実公正でかつ指導力が向上されている。
小中学校施設等	充実した教育環境に整備され、良好に保たれている。

## 施策の成果指標の状況・評価

実績値の推移				達成状況			
指標①	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生:国語】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	R6実績値	104.8	達成率	△241.7%
当初値(H25)	110.6	R1目標値	113.0	R6目標値	113.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準を維持することができている。</li> <li>・令和2年度の全国比110.0以降、結果が下降傾向にある。</li> <li>・各種学力調査において、「誤答や無回答の要因、学力推移の経年比較等、細やかに分析し、指導に生かすこと」、「『確かな学力育成プラン』の年度をまたいだ共有」を通して、指導改善のCAPDサイクルを機能させていく。</li> <li>・家庭学習について量的な改善が図られてきているため、質的な改善を図るとともに、主体的に取り組む児童を育成する。</li> <li>・学力向上推進事業等を通して「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、授業改善の意識を高めていくことで、学力向上につなげていく。</li> <li>・市教委の学校訪問事業等を通して、学校の状況やニーズに応じた各学校への指導支援を進めていく。</li> <li>・一人一台端末の授業における積極的な活用、AI型ドリルの効果的な活用により、一人一人の理解度に合わせた最適な学びを目指す。</li> </ul>			
当初値(H25)	103.8	R1目標値	107.0	R6目標値	107.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準を維持することができている。</li> <li>・令和2年度の全国比105.2以降、結果が下降傾向にある。</li> <li>・各種学力調査において、「誤答や無回答の要因、学力推移の経年比較等、細やかに分析し、指導に生かすこと」、「『確かな学力育成プラン』の年度をまたいだ共有」を通して、指導改善のCAPDサイクルを機能させていく。</li> <li>・家庭学習について量的・質的な改善を図るとともに、主体的に取り組む生徒を育成する。</li> <li>・学力向上推進事業等を通して「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、授業改善の意識を高めていくことで、学力向上につなげていく。</li> <li>・市教委の学校訪問事業等を通して、学校の状況やニーズに応じた各学校への指導支援を進めていく。</li> <li>・一人一台端末の授業における積極的な活用、AI型ドリルの効果的な活用により、一人一人の理解度に合わせた最適な学びを目指す。</li> </ul>			

実績値の推移				達成状況			
指標②	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生:算数】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	R6実績値	102.6	達成率	△362.5%
当初値(H25)	108.4	R1目標値	110.0	R6目標値	110.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準を維持することができている。</li> <li>・平成29年度の全国比108.0以降、結果が下降傾向にある。</li> <li>・各種学力調査において、「誤答や無回答の要因、学力推移の経年比較等、細やかに分析し、指導に生かすこと」、「『確かな学力育成プラン』の年度をまたいだ共有」を通して、指導改善のCAPDサイクルを機能させていく。</li> <li>・家庭学習について量的な改善が図られてきているため、質的な改善を図るとともに、主体的に取り組む児童を育成する。</li> <li>・学力向上推進事業等を通して「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、授業改善の意識を高めていくことで、学力向上につなげていく。</li> <li>・市教委の学校訪問事業等を通して、学校の状況やニーズに応じた各学校への指導支援を進めていく。</li> <li>・一人一台端末の授業における積極的な活用、AI型ドリルの効果的な活用により、一人一人の理解度に合わせた最適な学びを目指す。</li> </ul>			
当初値(H25)	102.2	R1目標値	105.0	R6目標値	105.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、令和3年度の全国比103.6以降、結果が下降傾向にある。</li> <li>・各種学力調査において、「誤答や無回答の要因、学力推移の経年比較等、細やかに分析し、指導に生かすこと」、「『確かな学力育成プラン』の年度をまたいだ共有」を通して、指導改善のCAPDサイクルを機能させていく。</li> <li>・家庭学習について量的・質的な改善を図るとともに、主体的に取り組む生徒を育成する。</li> <li>・学力向上推進事業等を通して「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、授業改善の意識を高めていくことで、学力向上につなげていく。</li> <li>・市教委の学校訪問事業等を通して、学校の状況やニーズに応じた各学校への指導支援を進めていく。</li> <li>・一人一台端末の授業における積極的な活用、AI型ドリルの効果的な活用により、一人一人の理解度に合わせた最適な学びを目指す。</li> </ul>			

実績値の推移				進捗の評価			
指標⑤	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:英語】	単位	目指す方向	R6実績値	97.8	達成率	△300.0%
		ポイント	↗				
当初値 (H25)	103.2	R1目標値	105.0	R6目標値	105.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、令和2年度の全国比105.0以降、結果が下降傾向にある。</li> <li>・各種学力調査において、「誤答や無回答の要因、学力推移の経年比較等、細やかに分析し、指導に生かすこと」、「『確かな学力育成プラン』の年度をまたいだ共有」を通して、指導改善のCAPDサイクルを機能させていく。</li> <li>・家庭学習について量的・質的な改善を図るとともに、主体的に取り組む生徒を育成する。</li> <li>・学力向上推進事業等を通して「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けて、授業改善の意識を高めていくことで、学力向上につなげていく。</li> <li>・市教委の学校訪問事業等を通して、学校の状況やニーズに応じた各学校への指導支援を進めていく。</li> <li>・一人一台端末の授業における積極的な活用、AI型ドリルの効果的な活用により、一人一人の理解度に合わせた最適な学びを目指す。</li> <li>・授業における指導者の英語使用の機会を適切に確保すること、生徒が英語を使う場面をさらに保障することにより、英語力を確実に向上させる。</li> </ul>			
指標⑦	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生:女】	単位	目指す方向	R6実績値	98.4	達成率	△420.0%
		ポイント	↗				
当初値 (H25)	100.5	R1目標値	101.0	R6目標値	101.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が制限されるなどしたことで一時的に体力低下が見られ、体育の時間を始めとする運動の質や量を確保することに努めたが、運動習慣の定着までは至らず、対象学年によっても差があり、運動習慣の二極化が進んでいると推測される。</li> <li>・50m走は、10年間一度も全国平均を上回ることができなかった。</li> <li>・ソフトボール投げ(投力)は、全国平均を概ね毎年、全国平均を上回る結果となっていた。</li> <li>・20mシャトルランや反復横跳びは、コロナ禍前ではほぼ全学年で全国標準を上回っていたが、コロナ禍を機に低下が見られる。生活習慣が変わり、運動をしない遊び等が増加したことが要因としてあげられる。</li> <li>・岩手県教育委員会で実施している、食習慣、生活習慣の改善を取り入れた「60(ロクマル)プラスプロジェクト」に積極的に取り組む必要がある。</li> </ul>			
指標⑨	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:女】	単位	目指す方向	R6実績値	99.9	達成率	△16.7%
		ポイント	↗				
当初値 (H25)	100.2	R1目標値	102.0	R6目標値	102.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が制限されるなどしたことで一時的に体力低下が見られたが、保健体育の時間を始めとする運動の質や量を確保できたことで、当初の値まで回復することができた。</li> <li>・50m走は、10年間一度も全国平均を上回ることができなかった。</li> <li>・ハンドボール投げ(投力)は、全国平均を概ね毎年、全国平均を上回る結果となっていた。</li> <li>・長座体前屈(柔軟性)は、毎年概ね全国標準を上回っている。</li> <li>・20mシャトルラン(全身持久力)は、全国標準を下回ることが多かったが、98%前後の結果となることが多く見られる。</li> <li>・握力(筋力)は、コロナ禍前は、毎年上回っていたが、コロナ禍から低下傾向にある。しかし、99%台が多くほぼ全国標準で推移している。</li> <li>・岩手県教育委員会で実施している、食習慣、生活習慣の改善を取り入れた「60(ロクマル)プラスプロジェクト」に積極的に取り組む必要がある。</li> </ul>			

実績値の推移				進捗の評価			
指標⑥	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生:男】	単位	目指す方向	R6実績値	98.4	達成率	18.8%
		ポイント	↗				
当初値 (H25)	97.8	R1目標値	101.0	R6目標値	101.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が制限されるなどしたことで一時的に体力低下が見られたが、保健体育の時間を始めとする運動の質や量を確保できたことで、当初の値まで回復することができた。</li> <li>・50m走は、10年間一度も全国平均を上回ることができなかった。</li> <li>・ソフトボール投げ(投力)は、令和4年度頃から全国平均を上回って来ている。投げることへの段階的な指導が確率されてきていることが要因としてあげられる。</li> <li>・立ち幅跳び(瞬発力)は、毎年、全国標準を上回ることが少なく、50m走との関連が大きく関わっていると考えられる。50m走が向上することで走り幅跳びの数値も上がってくると思われることから、走、跳の動きを体育のウォーミングアップ等で取り入れていく必要がある。</li> <li>・20mシャトルランは、低学年から中学年において全国標準を上回る傾向にあり、高学年では、ほぼ下回っている。各校では、マラソン大会等の企画をしているが、長距離の魅力や楽しさを継続して伝えていく必要がある。</li> <li>・岩手県教育委員会で実施している、食習慣、生活習慣の改善を取り入れた「60(ロクマル)プラスプロジェクト」に積極的に取り組む必要がある。</li> </ul>			
指標⑧	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:男】	単位	目指す方向	R6実績値	99.6	達成率	△50.0%
		ポイント	↗				
当初値 (H25)	100.4	R1目標値	102.0	R6目標値	102.0	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が制限されるなどしたことで一時的に体力低下が見られたが、保健体育の時間を始めとする運動の質や量を確保できたことで、当初の値まで回復することができた。</li> <li>・50m走は、10年間一度も全国平均を上回ることができなかった。</li> <li>・ハンドボール投げ(投力)は、全国平均を概ね毎年全国平均を上回る結果となっていた。</li> <li>・長座体前屈(柔軟性)は、毎年概ね全国標準を上回っている。</li> <li>・20mシャトルラン(全身持久力)についても、毎年、全国標準を下回ることが多い。小学校高学年から下回っていることから、小学校からの影響があるものと考えられる。日常的に有酸素運動を取り入れるなどし、苦手意識や有酸素運動嫌いを少なくしていくことが求められる。</li> <li>・岩手県教育委員会で実施している、食習慣、生活習慣の改善を取り入れた「60(ロクマル)プラスプロジェクト」に積極的に取り組む必要がある。</li> </ul>			

## 平成27年度～令和6年度の施策の総括（成果、課題）

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡市学力向上推進事業において、全市的な共通取組内容である「課題を捉え、解決の見通しをもつ場面」「考えを深める場面」「学びを振り返り、達成感を得る場面」を位置付けた授業づくりが浸透してきている。</li> <li>・校内研究会への指導主事の派遣、研究員研究、公開講座及び教育研究所研究発表会の開催等により教員の指導力向上に努めている。</li> <li>・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、小学校国語・算数・中学校国語で、全国平均を上回っている。特に、小学校で大きく上回っている。</li> <li>・小学校男子、中学校男女で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が制限されるなどしたことで一時的に体力低下が見られたが、保健体育の時間を始めとする運動の質や量を確保できたことで、当初の値まで回復することができた。</li> <li>・各校種、各性別で、ソフトボール、ハンドボール投げ(投力)は、全国平均を概ね毎年、全国平均を上回る結果となっている。</li> <li>・幼稚園教育について、一人ひとりの園児に対する職員の丁寧な対応が保護者に評価され、保護者の満足度が高い水準を維持している。</li> <li>・市立高校の進学・就職進路達成率は、コロナ禍の期間を除くと概ね98%以上となり、高い水準を維持できた。特に就職については連続して100%を達成した。</li> <li>・教職員研修の充実について、講座の内容を吟味し、教職員のニーズが高い講座を開設したことにより参加意欲が喚起され参加者数の目標達成につながった。</li> <li>・令和6年度までに、12校で「公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」における大規模改修工事に着手したが、取組実績に顕著な遅れが見られたことから、令和3年7月に「盛岡市立小中学校校舎安全対策改修計画」を策定し、校舎安全対策改修を行った。</li> <li>・令和3年7月に改訂した「盛岡市有公共施設トイレ環境整備計画」において、小中学校校舎及び屋内運動場を「小中学校トイレ環境早期改善施設」と位置付け、集中的に整備を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力に関する諸調査の結果から、算数・数学と英語において、児童生徒の資質・能力の向上に努めていく必要がある。</li> <li>・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、中学校数学・英語で、全国平均を下回っている。また、中学校国語も低下傾向にある。</li> <li>・不登校生徒の出現率が小学校も中学校も増加傾向にある。特に、中学校で大幅に増加している。</li> <li>・小学校女子で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が制限されるなどしたことで一時的に体力低下が見られ、体育の時間を始めとする運動の質や量を確保することに努めたが、運動習慣の定着までは至らず、対象学年によっても差がある。</li> <li>・幼稚園教育について、園児数の減少が継続しており、社会性を育む教育環境の確保が望まれている。</li> <li>・市立高校について、進学率や就職率の一層の向上を図るため、きめ細やかな指導体制の確立と教員研修の充実、教育活動の魅力化を図る必要がある。</li> <li>・教職員研修の参加者数について、悉皆研修として位置付けた講座の参加者が増加傾向にあることから、年間を通して悉皆研修の程度を把握し適切に位置付ける必要がある。</li> <li>・学校施設について、「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化長期計画」及び同中期計画の方針に沿って、大規模改修による長寿命化等の取組を進めてきたが、計画に基づく実施時期よりも早く設備の破損等が生じる学校があり、早期の安全性の確保が求められていたほか、利用者のニーズが高い便器の洋式化を中心としたトイレの環境整備を早急に行う必要が生じていたため、校舎・屋内運動場のトイレ整備及び小中学校施設の安全対策改修を集中して行ったが、今後も引続き、改修が完了していない小中学校のトイレ整備及び安全対策改修に努める必要がある。</li> </ul>

## 評価責任者意見

施策評価全体を踏まえた評価責任者意見（平成27年度～令和6年度の総括）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・盛岡市学力向上推進事業において、重点目標としている「児童生徒一人一人に資質・能力を育成することを目指した授業改善」に向け、校内研究会への指導主事の派遣、研究員研究、公開講座及び教育研究所研究発表会の開催等により教員の指導力向上に努めたことは評価できる。</li> <li>・NRTの数値は各校種、各教科共に減少傾向であることから、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善をこれまで以上に推進する必要がある。</li> <li>・不登校対策として、学校風土の「見える化」、校内教育支援センターの充実、「ひろばモリーオ」のセンター機能の充実を図り、誰一人取り残さない教育をさらに推進する必要がある。</li> <li>・各校種で、コロナ禍後に、工夫した活動を行ったことで、保健体育の時間を始めとする運動の質や量を確保し、概ね、当初の値まで回復することができたことは評価できる。</li> <li>・生涯にわたって運動を楽しむ態度の育成のために、運動の楽しさを体感する授業づくり、運動する機会の確保に努めることが求められる。</li> <li>・幼稚園教育は、「幼保・こども園と小学校の接続カリキュラム」の見直しを行い、幼児教育と小学校教育の相互理解と円滑な接続を促進する。</li> <li>・高等学校教育は、インターンシップ事業の実施や探究学習の推進により地域の魅力や課題を理解し、本市に誇りと愛着を持ち貢献しようとする人材の育成を図る。また、「高等学校DX加速化推進事業」を生かしたICT教育によるデジタル人材の育成に取り組む。</li> <li>・学校の安全性の確保や、利用者のニーズの高いトイレの改修を優先的に校舎、屋内運動場のトイレ整備及び小中学校施設の安全対策改修を集中して取り組んできたところであり、今後も引続き、改修が完了していない小中学校のトイレ整備及び安全対策改修に努める。</li> </ul>

# 【施策評価(令和6年度実績評価及び平成27年度～令和6年度総括)】

## 施策の総合計画における位置付け

基本目標	3	人を育み未来につなぐまちづくり
施策	18	生涯学習の推進
施策主管部等	教育委員会	
評価責任者	下田 法子 教育部長	
評価シート作成者	鈴木 茂也 教育次長	

## 「施策の目的」

施策の目的(総合計画実施計画から転記)
誰もが楽しみや生きがいを持ち、豊かに暮らすことができるように、いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築を図る。

## 施策の概要

主な取組内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育の充実を図るため、公民館では生活に欠かすことのできない必要課題に関する講座や、市民のニーズを踏まえた講座を開設するなどして幅広い学習機会の提供に努めた。</li> <li>利便性の向上や災害時に避難所となる公民館のインフラ整備のため、公民館6館(中央、上田、西部、河南、都南、洪民)にWi-Fi等の供用を開始した。また、市立図書館の耐震補強及び大規模改修工事を実施するなど、市民の良好な学習環境の整備に努めた。</li> </ul>

対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(対象をどのようにしたいのか)
市民		学習活動の継続と推進が図られている
社会教育施設		計画的な整備や修繕が実施されている

## 施策の成果指標の状況・評価

※達成率の算出方法 [↗] の指標: (R6実績値 - 当初値) / (R6目標値 - 当初値) × 100 [ → (+) の指標: (R6実績値) / (当初値) × 100 [ → (-) の指標: (当初値) / (R6実績値) × 100]

実績値の推移				達成状況			
指標①	まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの学習をした」と答えた市民の割合	単 位	目指す方向	R6実績値	39.4	達成率	△18.2%
当初値 (H25)	40.6	R1目標値	43.9	R6目標値	47.2	平成27年度～令和6年度の実績値の推移に対する要因分析	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度と令和2年度に大きく減少したところである。</li> <li>平成28年度の落ち込みは、「学びの循環推進事業」において市民のニーズに対して講座や講師が充足していないことや、公民館利用者の中心となるサークルの会員数が高齢化などの影響により減少し、それに伴ってサークル自体の数も減少していること、また、20歳以上の市民を対象としていたアンケート調査が平成28年度から18歳以上を対象と変更になったことが要因と考えられる。</li> <li>令和2年度の落ち込みは新型コロナウイルス感染拡大によるものであり、その後、徐々に社会生活を取り戻す中で、自らの学びも再開してきている状況と考えられる。</li> </ul>			

## 平成27年度～令和6年度の施策の総括(成果、課題)

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>学びの循環推進事業は、市民グループの申請に基づき、市の担当課職員や人材バンク登録講師を講師として派遣する事業であり、充実した内容の講座が実施され、市民の継続的な学習活動の推進が図られた。</li> <li>家庭教育支援や放課後子ども教室など社会教育事業の実施により、家庭や地域での教育の充実が図られた。</li> <li>社会教育施設の通信環境整備については、公民館6館(中央、上田、西部、河南、都南、洪民)及び市立図書館にWi-Fi等整備し、オンラインを活用した研修会や資料研究等、利便性の向上が図られた。</li> <li>社会教育施設の整備においては、市立図書館の大規模改修工事、見前南地区公民館の建設等、社会教育施設の整備・充実を図り、地域における学びの場の確保に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びの循環推進事業については、利用実績がコロナ禍以前の水準程度に回復しつつあるものの、「専門コース」の活用が引き続き伸び悩んでいることから、社会情勢の変化を踏まえた学習ニーズの把握やSNS等を活用した情報発信に努めるなど、学びの機会の充実を図る必要がある。</li> <li>社会教育関係団体の状況について、会員数や団体数が減少傾向にあり、新規の団体結成が少ない状況であることから、会員増加と新規団体育成のための支援を行う必要がある。</li> <li>社会的課題の学習テーマの講座については、受講者が集まりづらい傾向があることから、市民に興味、関心を持ってもらえる企画内容や周知方法、講師選定等に工夫が必要である。</li> <li>地区公民館等、Wi-Fi等通信環境が未整備の社会教育施設が残っていることから、通信環境の整備を検討する必要がある。</li> <li>子ども科学館など、一部の社会教育施設は老朽化が著しいことから、計画的に整備を進める必要がある。</li> </ul>

## 評価責任者意見

施策評価全体を踏まえた評価責任者意見(平成27年度～令和6年度の総括)
<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが生きがいを持ち豊かな人生を送るため、学んだ成果を地域づくりに生かす事業の普及や社会教育関係団体の支援・育成などを通して、いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築が求められていることから、すべての人が豊かな人生を送ることができるよう学びの機会の充実を図る必要がある。また、多様な学びのニーズに応じた講座の開催や事業の実施が求められていることから、幅広い分野の学習指導者が必要となる。</li> <li>子どもたちの健全育成を図るため、学校、地域、家庭と連携しながら家庭教育の充実を図るほか、中学生リーダーを育成する事業を通じて若い年代の社会参加活動を促進していく必要がある。</li> <li>社会教育施設利用者の安全性と教育機会の確保及び利便性向上を図るため、計画的な修繕と通信環境の整備に取り組む必要がある。</li> </ul>

議案第 38 号

盛岡市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について  
盛岡市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画を別紙のとおり策定するものとする。

令和 8 年 3 月 25 日 提出

盛岡市教育委員会教育長 多 田 英 史

提案理由

公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法第 8 条に基づき、盛岡市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画を策定しようとするものである。

議案第 39 号

盛岡市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則について  
盛岡市教育委員会行政組織規則の一部を次のとおり改正するものとする。

令和 8 年 3 月 25 日 提出

盛岡市教育委員会教育長 多 田 英 史

盛岡市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則  
盛岡市教育委員会行政組織規則（平成 4 年教育委員会規則第 13 号）の一部を次のように改正する。  
第 4 条の表学校教育課の項中第 6 号を削り、第 7 号を第 6 号とし、第 8 号から第 20 号までを 1 号  
ずつ繰り上げ、同表生涯学習課の項に次の 1 号を加える。

(13) 教育振興推進委員会に関すること。

附 則

この規則は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

提案理由

教育振興推進委員会に関する業務の事務移管に伴い、必要な規定の整理をしようとするものである。

議案第 40 号

盛岡市立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則について  
盛岡市立小中学校管理運営規則の一部を次のとおり改正するものとする。

令和 8 年 3 月 25 日 提出

盛岡市教育委員会教育長 多 田 英 史

盛岡市立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則  
盛岡市立小中学校管理運営規則（昭和47年教育委員会規則第6号）の一部を次のように改正する。  
第17条の2第3項中「第13項まで、第15項から第17項まで及び第19項」を「第10項まで、第12項から第14項まで、第16項から第18項まで及び第20項第1号」に改める。  
第17条の3第2項中「第37条第12項」を「第37条第13項」に改める。

附 則

この規則は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

提案理由

学校教育法の改正に伴う規定の整備をしようとするものである。

議案第 41 号

盛岡市立幼稚園管理運営規則の一部を改正する規則について  
盛岡市立幼稚園管理運営規則の一部を次のとおり改正するものとする。

令和 8 年 3 月 25 日 提出

盛岡市教育委員会教育長 多 田 英 史

盛岡市立幼稚園管理運営規則の一部を改正する規則  
盛岡市立幼稚園管理運営規則（昭和46年教育委員会規則第10号）の一部を次のように改正する。  
第 3 条の 2 中「35人」を「30人」に改める。

附 則

この規則は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

提案理由

幼稚園設置基準の改正に伴う規定の整備をしようとするものである。

議案第 42 号

盛岡市学校運営協議会規則の一部を改正する規則について  
盛岡市学校運営協議会規則の一部を次のとおり改正するものとする。

令和 8 年 3 月 25 日 提出

盛岡市教育委員会教育長 多 田 英 史

盛岡市学校運営協議会規則の一部を改正する規則

盛岡市学校運営協議会規則（令和 3 年教育委員会規則第 2 号）の一部を次のように改正する。

第 2 条中「地域の住民、児童生徒の保護者等」を「対象学校（当該協議会が、その運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する学校（学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 1 条に規定する小学校、中学校及び高等学校をいう。以下同じ。）をいう。以下同じ。）の所在する地域の住民、対象学校に在籍する児童生徒及び就学を予定する幼児の保護者その他の関係者」に改める。

第 3 条第 2 項中「当該協議会がその運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する学校（以下「」及び「」という。）」を削る。

第 4 条中第 4 号を第 5 号とし、第 3 号を第 4 号とし、第 2 号を第 3 号とし、第 1 号の次に次の 1 号を加える。

(2) 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（昭和 46 年法律第 77 号）第 7 条第 1 項に規定する業務量管理・健康確保措置の実施に関すること。

第 6 条第 1 項中「に関して次に掲げる事項に限り」を「ついて」に、「意見を」を「意見（対象学校の運営に関する基本的な方針の実現に資する意見及び対象学校の教育上の課題を踏まえた建設的な意見に限る。）を」に改め、同項に次のただし書を加える。

ただし、個人を特定した意見を述べることはできない。

第 6 条第 1 項各号を削る。

第 8 条第 2 項第 1 号中「対象学校の所在する地域の住民、対象学校に在籍する児童生徒及び就学を予定する幼児の保護者等」を「地域住民等」に改め、同項第 2 号中「前号に掲げる者」を「地域住民等」に改める。

第 9 条第 1 項中「一つの」を「1 の」に、「から、」を「から」に改め、同条第 3 項中「委員の辞職等」を「第 16 条第 1 項の規定に基づく委員の解任」に改める。

第 10 条の見出しを「守秘義務」に改め、同条第 2 項を削る。

第 12 条第 1 項ただし書中「対象学校の校長及び教職員」を「第 9 条第 1 項第 4 号又は第 5 号に掲げる者に該当する者」に改める。

第 14 条中「役割及び」を「役割、」に改める。

第 16 条第 1 項中「次の」を「委員が次の」に、「場合」を「場合又は委員から辞任の申出があった場合」に改め、同項中第 1 号を削り、第 2 号を第 1 号とし、第 3 号を第 5 号とし、同号の前に次

の3号を加える。

- (2) 委員たるにふさわしくない非行があったとき。
- (3) 委員としての地位を営利行為、政治活動、宗教活動等に不当に利用したとき。
- (4) 協議会及び対象学校の運営に著しく支障を来す言動を行ったとき。

第16条第2項中「委員」を「前項の規定に基づき委員」に改める。

#### 附 則

この規則は、令和8年4月1日から施行する。

#### 提案理由

盛岡市学校運営協議会の承認を得る必要のある学校運営に関する基本的な方針に係る事務に業務量管理・健康確保措置の実施に関することを加えるほか、必要な規定の整理をしようとするものである。

議案第 43 号

盛岡市社会教育委員の解嘱について

盛岡市社会教育委員設置条例（昭和24年条例第56号）第1条の規定に基づく盛岡市社会教育委員を次のとおり解嘱するものとする。

令和8年3月25日提出

盛岡市教育委員会教育長 多田英史

解嘱（令和8年3月31日付け）

氏名	住所	生年月日	区分
大橋清司			社会教育関係者

提案理由

大橋清司委員から辞任する旨の申し出があったことから、これを認め解嘱しようとするものである。

盛岡市社会教育委員名簿

令和8年4月1日現在（五十音順）

	氏名	推薦団体または所属	役職	区分	備考
1	うわのりえこ 上野理恵子	盛岡市PTA連合会	元会長	知識経験を有する者	
2	えんどうじゅんいち 遠藤純一	盛岡市少年指導員連絡協議会	副会長	社会教育関係者	
3	おおつぼしずお 大坪靖夫	盛岡市自治公民館連絡協議会	会長	社会教育関係者	
4	きくちあや 菊池あや文	盛岡地区私立幼稚園・認定こども園PTA連合会	委員	家庭教育関係者	
5	きただかずひこ 北田かず彦	盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会	会長	社会教育関係者	
6	さがはとしこ 佐賀とし子	元盛岡市教育委員会事務局生涯学習課	元社会教育指導員	知識経験を有する者	
7	さとういくこ 佐藤いく子	たまやま女性団体協議会	会長	社会教育関係者	
8	すぎもとつとむ 杉本つとむ	盛岡市歴史民俗資料館運営委員会	委員	知識経験を有する者	
9	せきむらかずえ 関村和絵	盛岡市児童センター保護者会連絡協議会	元会長	家庭教育関係者	
10	たかのほしみわ 鷹の賀みわ和	盛岡市小学校長会 (月が丘小学校長)	行財政部	学校教育関係者	
11	たかむらみつてる 高村みつ輝	盛岡市PTA連合会	顧問	社会教育関係者	
12	たまやまきょうじ 玉山きょう司	盛岡市老人クラブ連合会	会長	社会教育関係者	
13	なかむらひでとし 中村英俊	岩手県文化財愛護協会	会長	知識経験を有する者	
14	ふじいしんいち 藤井しん一	盛岡市立仁王児童センター・仁王老人福祉センター (元盛岡市教育委員会事務局生涯学習課)	所長 (元社会教育指導員)	知識経験を有する者	
15	ますだふみお 増田ふみ男	盛岡市町内会連合会	理事・教育振興部会長	社会教育関係者	
16	もとやまけいすけ 本山けい祐	岩手大学教育学部	准教授	知識経験を有する者	
17	やまぎきともき 山崎とも樹	盛岡市議会	議員	知識経験を有する者	
18	よしださとし 吉田さとし	盛岡市中学校長会 (巻堀中学校長)	行財政部	学校教育関係者	

任期:令和7年10月1日から令和9年9月30日まで

議案第 44 号

盛岡市公民館運営審議会委員の委嘱について

盛岡市公民館条例（昭和55年条例第21号）第19条の規定に基づく盛岡市公民館運営審議会委員を次のとおり委嘱するものとする。

令和8年3月25日提出

盛岡市教育委員会教育長 多 田 英 史

委嘱（令和8年4月1日付け）

氏 名	住 所	生年月日	区 分
伊 勢 志 穂			知識経験を有する者
市 村 眞 里			社会教育関係者
小笠原 秀 夫			知識経験を有する者
小野澤 章 子			知識経験を有する者
川 上 冴 華			知識経験を有する者
川 村 絵 美			知識経験を有する者
川守田 進 一			社会教育関係者
金 野 万 里			知識経験を有する者
久 慈 隆 広			社会教育関係者
近 藤 裕 子			社会教育関係者
佐々木 栄一			社会教育関係者
柴 崎 一 恵			社会教育関係者
小豆嶋 祥 子			社会教育関係者
高 橋 佐美雄			社会教育関係者
竹 田 俊 光			社会教育関係者
藤 原 泉			家庭教育関係者
山 内 弘 文			学校教育関係者

#### 提案理由

委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱しようとするものである。

盛岡市公民館運営審議会委員名簿

令和8年4月1日現在（五十音順）

	氏名	推薦団体または所属	役職	区分	備考
1	伊勢志穂	盛岡市議会議員	議員	知識経験を有する者	
2	いちむらま真り	西部公民館	公民館推薦委員	社会教育関係者	新規
3	おがさわらひでお夫	盛岡市議会議員	議員	知識経験を有する者	
4	おのざわあきこ	岩手大学人文社会科学部	准教授	知識経験を有する者	
5	かわかみさえか華	川上塗装工業株式会社	専務取締役	知識経験を有する者	
6	かわむらえみ	大ケ生カンパニー	代表	知識経験を有する者	
7	かわもりたしん進一	ボーイスカウト盛岡地区協議会	事務長	社会教育関係者	
8	きんのま万里	もりおか復興支援センター	所長	知識経験を有する者	
9	くじたかひろ	都南公民館	公民館推薦委員	社会教育関係者	新規
10	こんどうゆうこ	中央公民館	公民館推薦委員	社会教育関係者	新規
11	ささきえいち	河南公民館	公民館推薦委員	社会教育関係者	
12	しばきかずえ恵	上田公民館	公民館推薦委員	社会教育関係者	新規
13	しょうずしましょうこ	特定非営利活動法人 いわて子育てネット	理事	社会教育関係者	
14	だかほしきみお雄	盛岡市自治公民館連絡協議会	事務局長	社会教育関係者	
15	たけだとしみつ	渋民公民館	公民館推薦委員	社会教育関係者	
16	ふじわらいずみ	盛岡市PTA連合会	事務局員	家庭教育関係者	
17	やまうちひろふみ文	盛岡市小学校長会	会員	学校教育関係者	

任期:令和8年4月1日から令和10年3月31日まで

議案第 45 号

盛岡市図書館協議会委員の解嘱について

盛岡市図書館条例（平成8年条例第35号）第4条の規定に基づく盛岡市図書館協議会委員を次のとおり解嘱するものとする。

令和8年3月25日提出

盛岡市教育委員会教育長 多 田 英 史

解嘱（令和8年3月31日付け）

氏 名	住 所	生年月日	区 分
村 田 晃 子			社会教育関係者

提案理由

村田晃子委員から辞任する旨の申し出があったことから、これを認め解嘱しようとするものである。

盛岡市図書館協議会委員名簿

令和8年4月1日現在（五十音順）

	氏名	推薦団体または所属	役職	区分	備考
1	菊池 省治	岩手県高等学校長協会 (盛岡第二高等学校長)	副会長	学校教育関係者	
2	小竹 諒	公募		知識経験を有する者	
3	齋藤 佳孝	盛岡市小学校長会 (厨川小学校長)	総務部長	学校教育関係者	
4	澤口 恭子	渋民図書館利用団体		社会教育関係者	
5	杉本 勉	盛岡市社会教育委員会議	委員	社会教育関係者	
6	高田 麻美	岩手大学 教育学部 (学校教育科)	准教授	知識経験を有する者	
7	高橋 美知子	盛岡市立図書館利用団体連絡協議会	会長	社会教育関係者	
8	田山 俊悦	盛岡市議会	議員	知識経験を有する者	
9	中林 千花	公募		知識経験を有する者	
10	三浦 ひとし	盛岡市中学校長会 (見前中学校長)	総務部会計	学校教育関係者	
11	村田 房子	盛岡市都南図書館利用団体協議会	副会長	社会教育関係者	
12	山口 真樹	盛岡市PTA連合会	理事	家庭教育関係者	
13	吉植 庄栄	東北学院大学 文学部 (歴史学科 図書館情報学)	准教授	知識経験を有する者	

任期:令和7年7月1日から令和9年6月30日まで

議案第 46 号

盛岡市文化財保護審議会委員の委嘱について

盛岡市文化財保護条例（昭和53年条例第21号）第41条及び第42条の規定に基づく盛岡市文化財保護審議会委員を次のとおり委嘱するものとする。

令和8年3月25日提出

盛岡市教育委員会教育長 多田英史

委嘱（令和8年4月1日付け）

氏名	住所	生年月日	区分
勝部民男			有形文化財（建造物）
菅野文夫			有形文化財（歴史資料・古文書）
熊谷志衣子			有形文化財（工芸品） 無形文化財（工芸技術等）
熊谷常正			記念物（史跡） 埋蔵文化財
佐藤優			無形民俗文化財
中嶋奈津子			有形民俗文化財 無形民俗文化財
樋口知志			有形文化財（日本古代史）
誉田慶信			有形文化財（歴史資料・古文書） 有形民俗文化財
松木佐和子			記念物（森林）
藁谷収			有形文化財（絵画・工芸品）

提案理由

委員の任期満了に伴い、新たに委員を委嘱しようとするものである。

## 盛岡市文化財保護審議会委員名簿

令和8年4月1日現在（五十音順）

	氏名	推薦団体または所属	役職	区分	備考
1	かつ べ たみ お 男 勝 部 民 男	(一社) 岩手建築士会	元会長	有形文化財 (建造物)	
2	かん の 野 ふみ お 夫 菅 野 文 夫	岩手大学	名誉教授	有形文化財 (歴史資料・古文書)	
3	くま がい し い こ 子 熊 谷 志 衣 子	・ (公社) 日本工芸会正会員 ・ 岩手工芸美術協会会員		無形文化財 (工芸技術等) 有形文化財 (工芸品)	
4	くま がい つね まさ 正 熊 谷 常 正	盛岡大学	名誉教授	記念物 (史跡) 埋蔵文化財	
5	き とう まさる 優 佐 藤 優	・ 盛岡大学日本文学科 ・ 岩手民俗の会	教授 運営委員	無形民俗文化財	
6	なか し ま な つ こ 子 中 嶋 奈 津 子	・ 佛教大学 ・ 佛教大学総合研究所	非常勤講師 特別研究員	有形民俗文化財 無形民俗文化財	
7	ひ ぐち とも じ 志 樋 口 知 志	岩手大学	名誉教授	有形文化財 (日本古代史)	
8	ほん だ よし のぶ 信 蒼 田 慶 信	岩手県立大学盛岡短期大学部	名誉教授	有形文化財 (歴史資料・古文書) 有形民俗文化財	
9	まつ き 佐 わ こ 子 松 木 佐 和 子	岩手大学農学部	准教授	記念物 (森林)	新規
10	わら がい おさむ 収 藁 谷 収	・ 岩手県立美術館 ・ 岩手大学	元館長 名誉教授	有形文化財 (絵画・工芸品)	

任期：令和8年4月1日から令和10年3月31日まで

議案第 47 号

盛岡市先人記念館協議会委員の解嘱について

盛岡市先人記念館条例（昭和62年条例第21号）第18条の規定に基づく盛岡市先人記念館協議会委員を次のとおり解嘱するものとする。

令和8年3月25日提出

盛岡市教育委員会教育長 多 田 英 史

解嘱（令和8年3月31日付け）

氏 名	住 所	生年月日	区 分
成 瀬 肇			家庭教育
大 場 江利子			学校教育
鈴 木 雅 史			学校教育

提案理由

成瀬肇委員、大場江利子委員及び鈴木雅史委員から辞任する旨の申し出があったことから、これを認め解嘱しようとするものである。

盛岡市先人記念館協議会委員名簿

令和8年4月1日現在（区分ごと五十音順）

	氏名	推薦団体または所属	役職	区分	備考
1	おい かわ あきこ 及川 亜希子	株式会社岩手日報社	元総合メディア局プラス日報事務局長	知識経験を有する者	
2	く どう たけし 工藤 健	岩手県立博物館	専門学芸調査員	知識経験を有する者	
3	き さき たみ お 佐々木 民夫	盛岡市芸術文化推進審議会	会長	知識経験を有する者	
4	き さき よう こ 佐々木 洋子	盛岡商工会議所	前地域振興部長	知識経験を有する者	
5	ふじ い しげる 藤井 茂	一般財団法人新渡戸基金	理事長	知識経験を有する者	
6	むら なか ゆりこ 村中 ゆり子	盛岡市立米内幼稚園	元園長	知識経験を有する者	
7	おお いし きょう へい 大石 恭平	岩手県高等学校長協会 (岩手県立盛岡商業高等学校長)	常任理事	学校教育	

任期：令和7年11月1日から令和9年10月31日まで